

事業委員会主催 技術研修会(日帰りコース)報告

1. はじめに

平成 30 年度事業委員会主催の技術研修会(宿泊コース)を以下の要領で開催しました。

技術研修会の主な見学内容について報告します。

2. 見学内容

(1)実施概要

日 時：10月12日(金)9：00～
13日(土)11：30

参加者数：22 名

見 学 先：北海道新幹線後志トンネル工事現場
苗穂駅周辺地区まちづくり事業



【整備計画概要図】

(2)苗穂駅周辺地区まちづくり事業

苗穂駅周辺まちづくりでは、札幌市建設局土木部道路課杉原調整担当係長に概要説明していただいた後、整備中の苗穂駅及び北口、南口、アクセス通路を中心に見学させていただきました。



【杉原係長による概要説明】

①苗穂駅周辺まちづくり

苗穂駅周辺まちづくりは、平成 3 年の JR 苗穂駅北口開設要望から始まり「苗穂駅周辺地区まちづくり協議会」の発足により、札幌市、JR 北海道、地域住民により協議を重ね平成 24 年に都市計画決定され、事業が進められてきました。

②整備概要

現苗穂駅を 300m 札幌駅側へ移設し橋上駅舎として、北口駅前広場、南口駅前広場と南北を結ぶ連絡通路が整備され、周辺には中央体育館や民間による高層タワーマンション、医療福祉施設等の建設も計画されていました。連絡通路は、自転車も南北を移動できる通路(下写真)や自転車を載せられるエレベーターも整備され利便性の良い施設となっていました。また、連絡通路建設に寄付をしてくださった方の名前を、切断した使用済みレールに記載し記念碑として壁に埋め込んであるなどの工夫もされていました。



【自転車用通路】



【レールで作成した記念プレート】

③整備効果

整備効果として、南北の分断解消、駅周辺の利便性向上、歩行空間のバリアフリー化、周辺のにぎわいの創出などが期待されています。新駅舎、連絡通路の開通は、平成30年11月の予定となっていますので、開通後には皆さん是非足を運んでみてはどうでしょうか。

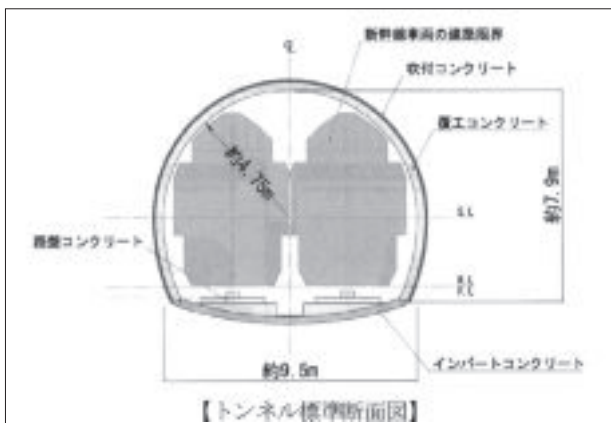
(3)北海道新幹線後志トンネル工事

①後志トンネル工事概要

今回の見学は、後志トンネル(延長17,990m)のうち西松建設を主体とするJVが施工している北上沢地区(延長4,600m)の見学をさせていただきました。工事概要は以下のとおりです。



- ・場所：余市郡赤井川村字落合地内
- ・工期：平成27年10月～平成33年8月
- ・延長：本坑4,600m、斜坑465m
- ・標準内空断面：65m²
- ・工法：NATM(発破掘削)



②工事状況

施工区間は、後志トンネルの中間部分であったため侵入する斜坑を設け本坑施工を行っていましたが、延長が長く構内が狭いため掘削ズリの搬出は大型破碎機で破碎しベルトコンベアで搬出していました。



【トンネル内ベルトコンベア】



【切羽部】

また、切羽での発破使用時には切羽周辺の重機移動

が最小限で済むようエアマットにより断面を塞ぎ掘削ズリの飛散、爆風対策を行うなど、効率的に作業を実施していました。

3. おわりに

今回は、完成前の駅舎と連絡通路の見学やトンネル工事の切羽部まで見学でき大変貴重な経験ができました。また、見学後に蘭越町幽泉閣で開催した懇親会では、参加者の皆様と交流を深めることができました。

参加者の皆様、ご協力くださいました札幌市建設局道路課の皆様、(株)西松建設の皆様、ありがとうございました。

見学先が札幌から比較的近い(札幌市内、赤井川村)ということもあり、例年行っている地方委員会との共催ではなく事業



【懇親会の様子】

委員会単独で開催しましたが、来年度は、地方委員会との共催予定(道南方面)となっていますので、多数のご参加お待ちしております。